

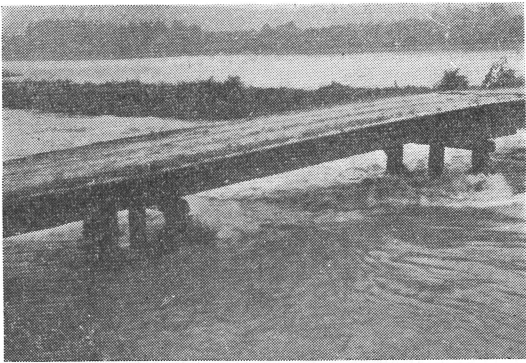
山形県最上地方を襲った大雨洪水

昭和 33 年 7 月 28 日 ~ 29 日

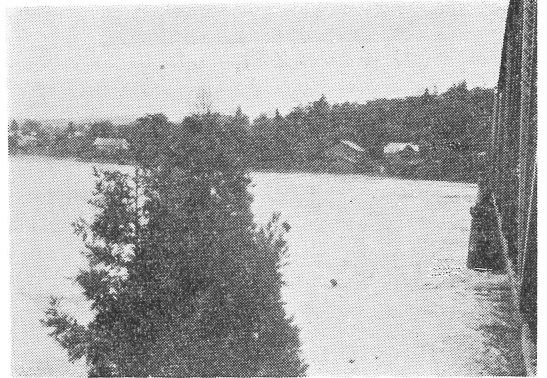
新庄測候所

7月下旬山形県下は、台風11号とそれに引続く前線性豪雨とに見舞われ、10日間の合計雨量は平均450mmに達し、この期間発表された各種注意報、情報、警報の類は64を数えた。このため各地に水害が起ったが昔から水害の多い最上川中流部がもっともひどく近来にない大氾らんを起した。

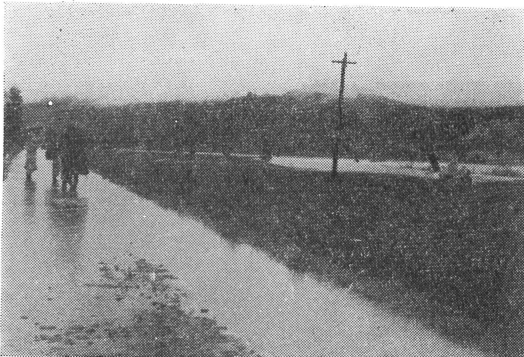
田畑流失、冠水 1,680町歩、堤防欠潰・道路損壊38カ所



(1) 濁流は刻々と増していった



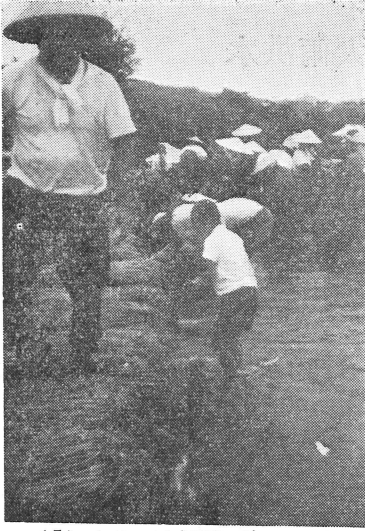
(2) 鉄橋が危い！



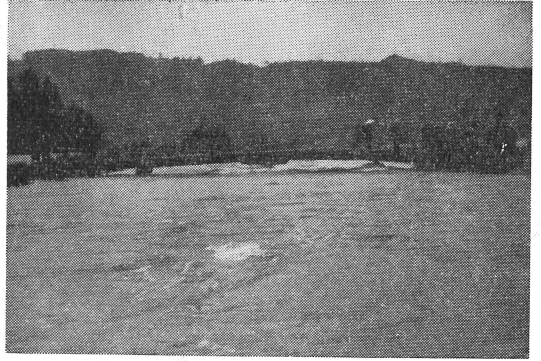
(3) 雨は依然として止まない



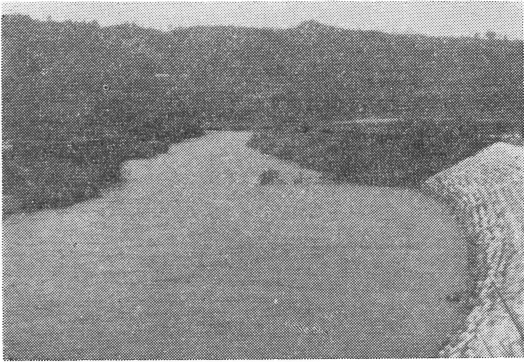
(4) 人々は畏れ



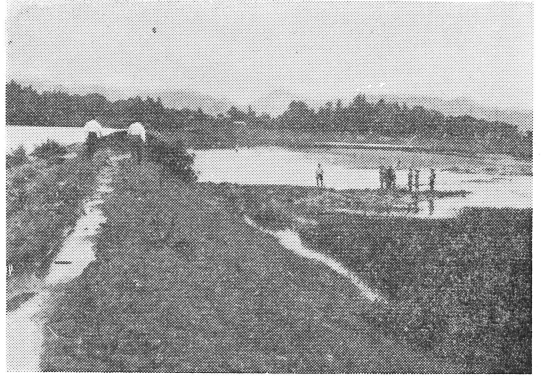
(5) あるいは必死に闘った。



(6) しかし……………



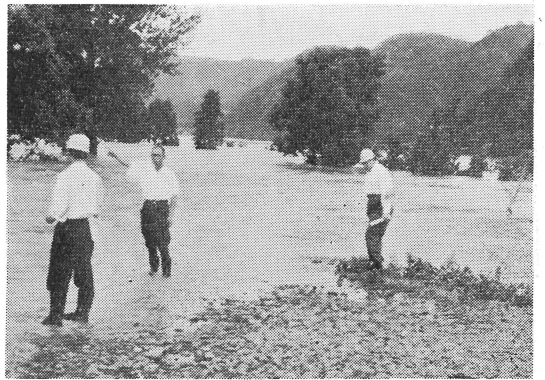
(7) 遂に橋梁はおちた。



(8) 堤防は……………



(9) 壊れ去った。

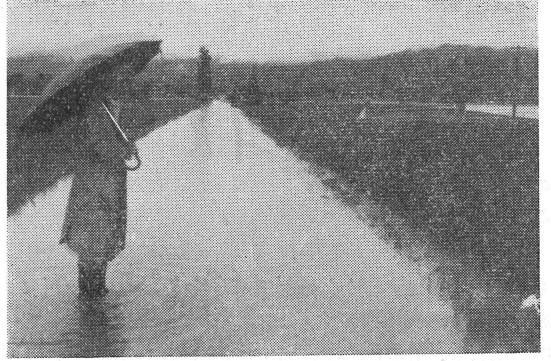


(10) かくて奔流は道を洗い

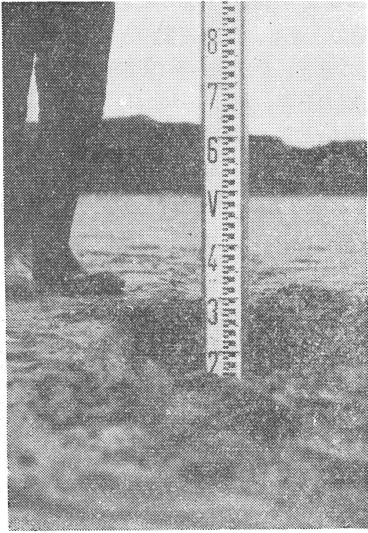
山形県最上地方を襲った大雨洪水



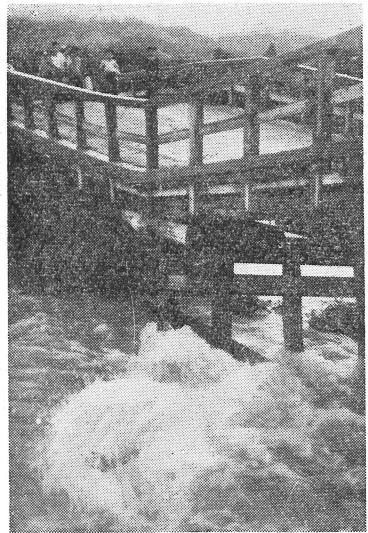
(11) 民家に迫り



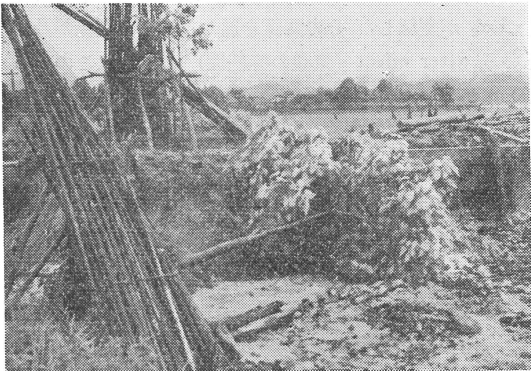
(12) 田畑を浸し



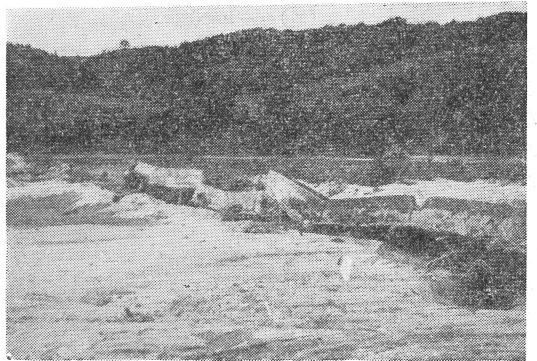
(13) 美田を埋め



(14) 各所に爪跡を残していった



(15) 水魔は去った……

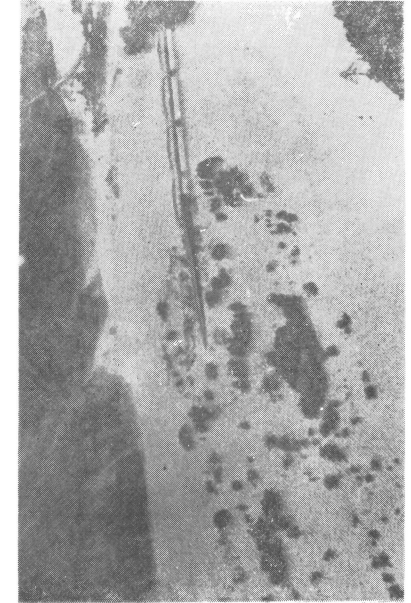


(16) むなしい人間の努力をあざ笑いながら…

最上川地方の大雨洪水



浸水した最上川古口附近



新庄市本合海附近の冠水



濁流は美田を埋め



民家に迫った